

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必  
要に応じて186を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 震災と政治家の募金、議会の募金活動

議会では、議員を対象に被災地支援金を募るといふか、本人に割り当てる場合があります。大規模災害だけでなく、友好都市の局地的な災害でも募金ということもあります。

また、大規模災害に際しては、超党派的に一致して議会全体で募金活動をしようということもありました。議会では、東日本大震災などの支援で一般募金を訴えたことがあります。市内のスポーツチームの皆さんや大学生も協力してくれたことがありました。



東日本震災支援の議会募金活動時の写真

また、政党がそれぞれに独自で行う募金活動を行う場合もありますが、他の政治主張と結びつける行為もあつたりしましたが、近年はそれを峻別する傾向が出てきたように見受けられます。

また、一般には、こうした募金活動は人が社会参加する契機にもなり、通常の仕事では現れなかつた能力を示す人が誕生する例もあります。また、そうした人が新しく政治家を志すことも起きています。

## ビブリオバトル・オーケストラフェスタと甲子園大会都西大会

昨年は、大きな文化イベントを見学する機会がありました。第14回全国ビブリオバトル大会首都決戦(自分が読書した本を観客に向かって紹介するもので、他の発表者と参加者に一番興味を持たせ、その人数を競う大会)で大学、高校、中学と別々に大会が開かれています。会場入場者が一体で、参加し、評価権を持つのが特徴でした。

第30回全国高等学校選抜オーケストラフェスタは、日本青年館で4日間にわたって開催され、参加校生や一般入場者が観客になり、順番に1校ずつ演奏して、お互いに交流を深めあうものです。今回は、全国37校、約3770名が演奏参加し、内2日間の午前は、選抜の参加者合同演奏を行う方式でした。

夏の甲子園西東京大会は毎年観戦していますが、それも強豪校だけでなく、地元の公立校の試合もそれぞれの応援目的で観戦しています。その試合はトーナメント戦で行われるので大半の公立高校は一回戦で消えることが大半でその対戦相手がどのように決まるかも重様な選択肢になります。23年日大三高優勝。



○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、  
第53期生を受け入れ準備中

## 学校統合に関する町田市の説明に欠く事①

町田市は、私立校の動向に無関心で計画立案

将来の日本の人口統計予測がでましたが、東京都を除いて、全ての道府県で、人口が減少する数値となりました。東京の人口は減少しない予測ですが、それは23区部に関するもので、町田市などの多摩地域は人口減少が起きるとされています。その立場のみの見地で学校統廃合計画が策定され、一方的に廃校と統合化が町田市長と教育委員会によってすすめられています。関係住民からは、統廃反対、学校存続の請願が出されていますが、教育委員会が構想する学校統廃合によって、適正規模の学校運営ができると見る立場が多数派を占めています。

私や無所属会派は、その教育委員会の立場と異なる見解を取っています。私が問題とするのは、町田市の計画策定に周辺私立学校の募集動向が検討されていない、小学生(と親)の関心が中高一貫校に向かっていることなどの分析が皆無であることです。公立校だけのあり方を論じていては時代に合っていません。私立校に対応するには、身近で中小規模校、編成校になることをメインの選択肢に取り入れるべきだと考えています。つまり、教育委員会とは真逆の考え方です。一つ不思議に思うのは、そうした議論を行う主役の当事者や家族ほどの程度に公立校入学を選択しているのでしょうか。(続く)



人気の一貫校、町田市の周辺にある私立学校

## 建設DX: 移動式タワークレーンについて

私を知る海外は、1ドル=80-90円に時代

東京ビックサイトで開催され、建設DX展において、大型機では、大型の自走式建設用タワークレーンが目立ちました。ただし、大きすぎることで、運行台数が少ないこともあって、模型展示でした。実際にはメーカー展示ではなく、クレーン作業・運送会社の展示でしたが、クレーン車はオペレーター付きで出動するためのものでした。「埼玉ブロック運輸」という会社の出展ブースでした。このタイヤ自走式のタワー自動ジブ組み立てクレーンは日本に6台しかなく、東京には1台あるだけだそうです。タワーからジブという腕を水平に伸ばして動く大型クレーン製造メーカーは国産ではなく、ドイツ企業でリープヘルという会社という説明でした。



建設DX展: 埼玉ブロック運輸は、モバイル操作が可能ならび付きでタワークレーンを展示  
2023.12.14



これまでの日本は、こうした建設機械分野でも世界トップの技術を備えていると思っていましたが、海外に目を転じれば、機械の規模もDX化も世界はもっともっと先を行っているようです。この20年間以上、日本経済の成長が停滞し、ドルに対して円安体制に浸っている間に、日本企業が技術革新の取り込みを怠り、海外企業との競争に低価格勝負の道を歩んでいたのでしょうか。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年9月末までに105名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。